

北の杜学園について

○概要

- ・北中学校区の学校（太田東小、葦川西小、北中）の小規模化に対する対策の一つとして、平成27年度の太田市総合教育会議において、小中一貫型教育校の設置が提案された。しかし、太田市が全市的に取り組んできた小中連携の教育効果とそれほど違いがなく、導入に至らなかった。
- ・平成29年度の太田市総合教育会議において、義務教育学校設立の議題が取り上げられ、北中学校区での義務教育学校開校を目指すことになる。学校施設は改修した北中校舎及び北中敷地内に増築した新校舎を利用（建設・改修費は約23億円）。開校は令和3年4月、設置決定から開校までの準備期間は約3年6カ月。
- ・令和4年5月現在、児童生徒数は802名、学級数は33学級（通常学級27学級【3学級×9学年】、特別支援学級6学級）

○特色

施設一体型	1～9年生までの児童生徒全員が、一つの校舎で学校生活を送る。日常的に交流を図ることができ、異年齢交流を通じた社会性育成機会を設けることが容易である。
ステージ制	学年段階の区切り（指導を行う上での学年のまとまり）となる「ステージ」を4つ（2-2-3-2）とし、ステージの教員がステージの児童生徒との関わりを大切にするきめ細かな指導を充実させている。また、「ステージリーダー」と呼ばれる教員を配置し、ステージ内の連携やステージ間のつながりを大切にした学校運営に当たっている。
教科担任制	ステージⅢ（5・6・7年）から、各教科の免許をもった教員が専門性を生かした「教科担任制」の授業を行い、児童生徒の学習内容に対する興味・関心を高め、理解度・定着度の向上を図っている。なお、ステージⅢから授業時間を50分としている。
縦割り班活動	1～9年生までの各学年の児童生徒が所属する「縦割り班」を編制し、異年齢集団活動を行っている。「縦割り班」を生かしたグループ遊びや全校遠足、運動会等を通して、下級生への思いやりの心や上級生への憧れの気持ちを育むとともに、「リーダーシップ」や「フォロワーシップ」を育成する。
太田市型 学校運営協議会	学校評議員制度を活用した「太田市型学校運営協議会」を設置し、地域住民や保護者を委嘱し、日頃の教育活動への助言をいただいている。また、学校支援センターを生かした「通学路見守りボランティア」を募り、児童生徒の交通安全に協力していただいている。

○教育活動の成果

- ・おおむね当初の予定通りの成果が見られる。具体的なものとして、「日常的な異年齢交流機会の確保」「教職員の意識向上」「地域との連携」等が上げられる。